



今月の大植びと

鈴木 藤洋さん

(41歳・鈴木商店代表)

自営業の代表取締役を務めるかたわら、はまぎく若だんな会などにも所属し活動する鈴木さん。よ市〜夏祭り〜の実行委員長も務めました。

先を考えると不安だからこそ動かないと鈴木さんのお仕事の内容を教えてください。

鈴木さん(以下鈴)―主なものはガスの小売業です。その他に印鑑の販売、岩盤浴なども営業しています。はまぎく若だんな会など、お仕事以外の活動にも取り組まれていますね？

鈴―はい。元々はグループ補助金の申請がきっかけでしたが、学校の「ふるさと科」



の講師をしたり、イベントを企画したりしています。さらに、よ市の実行委員長をつとめました。どのような思いで開催したのですか？

鈴―僕らはちょうど中間の世代で、先を見るとやはり不安です。だからこそ動かない

と思います。末広町だけじゃなく、実家で商売をしている人はみんな同じだと思います。最初、町に戻る人もっと少ないと思っていました。だから、意外と前向きに取り組んでいます。

地元に戻元できる事業を

これからの町で鈴木さんが担う役割は何でしょうか？

鈴―本業も、若だんな会などの活動もそ

うですけど、地元に戻元できる事業をしたいと考えています。私の仕事は、何か製品を作って外に売ると違って、

地元が良くなると会社も良くなるとは違います。若い人を相手にした商売がしたいですね。栃木県の黒磯市という所で、おしゃれなカフェができたところから波及して、外からお客さんがたくさん来るようになった商店街があるんです。元々あった商店も、新しいお店も、人が来るようになってまた相乗効果で商店街が良くなっていった。末広町も同じようになつたら素晴らしいですね？

鈴―みんなで一緒になってやらないとできないことなので、そういうことができればいいですね。



8月号 大久保彩乃さん
9月号 鈴木 藤洋さん

前号と今号の大植びとが対談するコーナーです。様々な分野で活躍する大植びとの皆さんが、誌面の上で出会います。「たし算」ではなく、「かけ算」の絆が、また新たな大植を創っていきます。

お二人は面識はありますか？

鈴―AMD Aにいらつしゃった時、ガスの修理や工事に何つてお会いしたことはありますが、話すのは初めてです。

聞いてみたいことなどありますか？

大―私も代表という立場をやらせてもらっていますが、本業がある中で色んな事業をされていますごく大変だろうなと思います。

鈴―自分の会社と違って、色んな仕事を持つ人たちが集まっているので、一人じゃできないこともできるのが良いところですが、みんな仕事の合間にやっているのでもそこは大変ですね。

お二人が協力して何かするとしたら、どんな事をしてみたいですか？

鈴―下の世代なので、僕らのあとを引き継いでいくようになるのかな。世代がつながって、町を良くしていければいいですね。

大―上の世代の方々から色んなお話を聞ける場があればいいなと思います。改まった場所じゃなく、気軽に色んな人が集まって話せたらすごく勉強になります。

